

高2 CAN-DO リストの分析による後期の取り組み

アスリート

国語	文章で表現する機会を増やす。
社会	自分の言葉で学習内容を説明できるようにする。
数学	苦手意識を払拭するためのプリントを工夫する。
理科	野球と物理を関連づけていく。化学では図や表の作成を取り入れる。
英語	基本的な英文を能動的に取り組むようにする。

プログレス

国語	古典分野での敬語、助動詞と漢文分野での句形の理解を深める。	
社会	文系	周辺地域との関連について、資料に基づいて説明できるようにする。
	理系	基本的な国の位置関係の理解、産業変化のプロセスを取り上げる。
数学	文系	より一層、基礎基本の徹底をはかる。
	理系	積み残しのある生徒には放課後補習を行う。
理科	文系	知識の定着と共に探求活動などに取り組む。
	理系	教科書の語句を覚えるだけにならないようにする。
英語	Easysrtrtをスムーズに読めるレベルに上げ、英語発音の機会を増やす。辞書の活用の習慣化を図る。	

選抜特進

国語	現代文	評論文・小説文の読解法の定着を図る。	
	古文	古語の習得と文法理解を深める。	
社会	世界史	歴史的流れを説明できるようにする。	
	日本史	同時代の世界の動きを取り上げ、日本と比較する習慣をつける。	
	地理	地理的事象について歴史的観点からも確認していく。	
数学	授業とドラゴンゼミをタイアップさせて、基本の定着をはかる。		
理科	文系	化学や生物とのつながりをもって、物理基礎の学習意欲を高める。	
		物理	週末課題の充実をはかる。
	理系	化学	教科書の語句を覚えるだけにならないようにする。
		生物	生物基礎の復習も取り入れる。
英語	「コミュニケーション英語」と「英語表現」で4技能のバランスをとりながらすすめる。		